

寫

亞一機密第四號

昭和三年一月十九日

外務大臣男爵 田中 義一

在馬耳塞

領事代理 友田 二郎 殿

根本書記生ニ便宜供與方ノ件

本月三十日横濱出帆ノ賀茂丸ニテ在獨大使館ニ赴任ノ根本書記生ハ在佛大使館宛重要書類(木箱二個)ヲ持參致スニ付同官貴地上陸ノ際ハ可然便宜供與方御取計相成度

(赤梓紙)

不要記

外務省

議會關係

(赤梓紙)

擬問擬答追加

(亞細亞局第一課關係)

一 東三省排日

(一) 問一 滿蒙交渉開始セラルルヤ奉天其ノ他東三省ニ於テ排日運動勃發シタルカ其ノ原因、經過、影響及之ニ對シ政府ノ執リタル措置如何

(答) 書面ヲ以テ回答スヘシ

(二) 問一 滿洲ニ於テ排日運動ノ勃發シタルハ今回ヲ以テ嚆矢トス政府ノ滿蒙政策ニシテ公明正大ナルモノナルニ於テハ斯カル亂暴ナル排日運動ノ勃發スル管ナシ

(答) 滿洲排日運動ハ我公明ナル政策ニ對スル支那側ノ理解充分

外務省

以下  
昭和三年一月二十日  
作成同日  
次官、政務次官  
及亞細亞局長ノ  
提出済

秘

ナラサリシニ起因スルモノト認ムルトコロ我方ノ誠意ノ存スル所ヲ充分了解セシムル様努メタル結果排日運動モ終熄スルニ至リタリ

(三) 政府カ内外人安住ノ地タラシメムト欲スル滿洲ニ斯カル排日風潮ノ植付ケラレタルハ將來ニ對シ永ク禍根ヲ殘スモノト云ハサルヘカラス政府ハ將來ニ向ツテ斯カル風潮根絶ノ爲如何ナル方法ヲ講セントスルヤ

(答) 排日風潮ハ一時的ノ現象ニシテ目下何等ノ憂フヘキ兆候ヲ認メス

南京事件

(一) 南京事件ニ付其ノ後如何ナル交渉ヲ行ハレタルヤ最近交渉

停頓シテ進捗セサル様子ナルハ如何ナル理由ニ依ルヤ

(答) 南京政府ノ基礎モ不安定ナル爲本件交渉一時中絶シ居レリ

(二) 本件交渉ニ關スル他國側トノ協調及之ニ關スル方針如何

(答) 各國相互間ニ充分ノ聯絡ヲ保テツツアリ

(三) 蔣介石ハ南京事件ノ責任者ナルニ不拘其ノ來朝ニ當リ外務大臣、次官、軍部等ニ於テ之ヲ歡待シタルハ不謹慎ト認ム政府ノ見解如何

(答) 蔣介石ハ直接ノ責任者ニアラサルノミナラス既ニ下野シ私人ノ資格ヲ以テ來朝シタルモノナレハ一般支那要人ノ來朝シタル者ニ對スルト同様ノ接待ヲ爲シタルニ過キス

秘

擬問擬答追加

(亞細亞局第一課關係)

洮南領事館開設問題

(問) 本年度豫算ニ經費ヲ計上シアル洮南領事館開設ハ未タ實行セラレサル處右ハ如何ナル事由ニ基クモノナリヤ

(答) 開設ノ時期ニツキ機微ノ干涉有リシ爲メ遺憾ナカラ今日迄實行ニ至ラス

(赤梓紙)

S. 1.5.2.0-1

65

外務省

秘

質疑應答案

一三井無線開闢ノ現状如何

(答) 三井無線問題ニ關シテハ關係各國間ノ意見一致セサル爲未タ解決ノ遲ヒニ至ラサルモノナルカ政府ニ於テハ關係諸國トモ適宜接洽ノ上速ニ本件ヲ圓滿解決スル機微意努力中ナリ

二支那鐵道問題中左ノ諸線ニ付説明ヲ求ム

(イ) 吉會鐵道 (答) 本鐵道ニ關シテハ大正七年吉會鐵道借款豫備契約締結セラレタルモ未タ本契約ノ締結ヲ見ヌ尤モ本線中吉林敦化間ハ目下支那側ニ於テ滿鐵ノ工事購買ニヨリ建設中ナリ

(ロ) 長沈線 本線ハ大正七年日支開交換公文ニヨル我方留保線ノ一ナルモ未タ建設ノ遅ヒニ至ラス

(赤梓紙)

S. 1.5.2.0-1

66

外務省

紙

(イ)海吉線 本線ハ大正七年日支間交換公文ニヨリ我方留保線ノ一  
ナリ

(ロ)打通線 本線ハ客年末支那側ニ於テ建設工事ヲ完成シタル趣ナ  
リ

(ハ)海林延吉線 本線ニ付テハ政府ハ何等知ルトコロナシ

(ニ)吉林五常線 同右

(ホ)洮南索倫線 同右

(ヘ)白音太拉開魯線 同右

(コ)新邱炭坑線 同右

(ケ)南潯鐵道 本鐵道ハ支那中部地方ニ於ケル我方關係鐵道ナルカ  
最近同地方戰亂等ノ爲ニ涉々シキ収益ヲ得ス政府ニ於テハ

外務省

S 1.5.2.0 - 1 67

紙

本鐵道ニ關スル日本側利益保全方ニ付目下措置ヲ講シツツアリ

外務省

S 1.5.2.0 - 1 68

秘

(紙 抄 紙)

(問) 支那各地官憲ハ軍費捻出ノ爲或ハ恣ニ不法課稅ヲ行ヒ或ハ鹽稅收入ヲ抑留シ又公債ノ引受ヲ強制スル等外國側トノ條約又ハ契約ノ規定ヲ全ク無視シテ顧ミズ最近ニ至リ右ノ事體益々惡化セムトスル傾向アル處帝國政府ハ我方ノ權利利益保護ノ爲右ニ對シ何等有效適切ナル根本的對策ヲ講スル意アリヤ

(答) 帝國政府トシテハ支那側不法措置ニ對シ嚴重抗議シ萬一支那側ニ於テ右抗議ニ拘ラス依然其態度ヲ改メサル場合ニハ各個ノ場合ニ應シ更ニ峻嚴ナル措置ヲ執ルコトヲ意ラス

(問) 從來支那内争ノ外ニ超越シテ唯一ノ確實ナル財源ヲ形成シタル海關ノ組織ハ最近支那ニ於ケル國權恢復ノ風潮並各地軍憲割據ノ爲或ハ遠カラス之ヲ支那側ニ回收シ南北兩分惹テハ全ク同側

外 務 省

S. 1.5.2.0 - 1

69

(紙 抄 紙)

度ノ崩壞ヲ見ムトスルノ虞ナキニ非スト認メラルル處我方ノ通商保護及債權確保ノ見地ヨリ帝國政府ハ右ニ對シ早キニ臨ンテ何等對策ヲ講スルノ意ナキヤ

(答) 帝國政府ハ各國ト共ニ非公式ニ南北兩政府ノ間ニ斡旋シテ圓滿ナル妥協ヲ遂ケシメ海關組織ノ現狀維持ニ努ムル方針ナリ

(問) 對支借款ハ元利ノ支拂徒ラニ延滞スルノミニテ支那ノ現狀ニ於テハ到底回收ノ見込ナキモノト認メラルル處帝國政府ハ何等カノ方法ニ依リ對支債權者ヲ救済スルノ意アリヤ

(答) 帝國政府トシテハ目下何等考慮シ居ラス

(問) 漢洋公司ノ事業整理ノ爲國民政府ニ於テ之ヲ管理ヲ接收セムトスル意向アルヤニ傳ヘラルル處右ニ對スル帝國政府ノ方針如何

外 務 省

S. 1.5.2.0 - 1

70

(答) 本件根本的對策ニ付テハ目下關係省間ニ於テ慎重考究中ナルカ  
第一段ノ措置トシテハ關係官ヲ揚子江方面ニ派遣スルト共ニ關  
係領事ヲシテ支那側不法措置ニ對シ嚴重抗議セシムル筈ナリ

(赤  
梓  
紙)

S 1.5.2.0 - 1

71

外  
務  
省

(赤  
梓  
紙)

不要紙

寫

亞一機密第一七號

昭和三年一月二十一日

外務大臣男爵 田 中 義 一

在ソヴィエト聯邦

特命全權大使 田 中 都 吉 殿

調書送付ノ件

本件ニ關シテハ本月十日附亞一機密合第一一號往信ヲ以テ申進置タ  
ル處今般同調書第二卷第三卷及第四卷(第十九號)各一部合計三册  
貴地ニ出張ノ上田書記官ニ托送致スニ付右同官ヨリ御查收相成度尙  
本調書ハ極秘事項ヲモ記載シアル次第ニ付取扱方特ニ御注意相成度

外  
務  
省

秘

議問答表 (第五十四次全會準備) 昭和三年一月

(亞細亞局第一課關係資料)

議會關係

(赤梓紙)

一 對支一般政策

(一) 問 支那動亂ニ對スル帝國政府ノ方針如何、政府ニ於テハ支那動亂ニ對シ拱手傍觀ノ態度ヲ持セラルルニヤ、支那政狀安定ノ爲積極的ニ相當ノ手段ヲ講セラレサルヤ

(答) 政府ハ支那ノ内亂ニ干涉スル意圖ヲ有セス但之カ爲直接ニ在留邦人ノ生命財産ニ危害ヲ生スル虞アル場合ニハ之カ保護ノ爲必要ノ措置ニ出ツヘシ

(二) 問 支那ニ於ケル各軍閥ノ鬭争ハ今ヤ益々激烈ヲ加ヘ來レル處政府ハ右ノ事態ニ對シテ如何ナル態度ヲ採リツツアリヤ

外務省

(赤梓紙)

(答) 政府ハ支那動亂ニ對シ不干涉ノ方針ヲ持スルヲ以テ各派ノ鬭争ニ對シテモ一黨一派ニ偏セス各派間ノ離合集散ニ干涉シ又ハ一派ヲ支援スルカ如キコトハ嚴ニ之ヲ避クルノ態度ヲ採リツ・アリ

(三) 問 支那内政不干涉主義ニ關スル政府ノ方針如何

(答) 政府ハ支那内政ニハ干涉セス

(四) 問 政府ハ不偏不黨内政ニ干涉セスト云ハルルモ山東出兵ハ北方派ヲ助ケ内政ニ干涉スルノ結果ヲ生シタルニアラスヤ、其ノ他ニ於テモ或ル黨派ニ對シ諸種ノ方法ニ依リ陰ニ援助ヲ與ヘ居ルヤノ風評アリ政府ハ之ヲ如何ニ説明セラルルヤ

(答) 何等斯クノ如キ事實ヲ認メス山東出兵ハ在留邦人保護ノ

外務省

目的ニ出テ帝國軍隊ノ行動モ此ノ目的ニ必要ナル範圍ニ限り終始嚴正中立ノ態度ヲ持シタルヲ以テ干涉ノ結果ヲ生セス其ノ外或ル一黨一派ニ對シ援助ヲ與ヘタルカ如キコト絕對ニ無シ

(問) 支那革命運動及國民黨政府ニ對スル政府ノ態度如何

(答) 政府ハ一黨一派ニ偏セス又國民的の要望ニ對シテハ同情ヲ有ス

(六) (問) 支那各地政權ニ對スル政府ノ態度如何、殊ニ

- (イ) 南方政府ヲ承認スルノ意圖ナキヤ
- (ロ) 北京政府ノ權力ハ事實ニ於テ南方ニ及ハサル處北京政府ヲ以テ支那ノ中央政府ト認メラルルヤ
- (ハ) 張作霖大元帥トナリテ組織シタル政府ヲ正式ニ承認セラレタ

ルヤ

(答) (イ) 目下南方政府ヲ承認スルノ意圖ヲ有セス

(ロ) 現在ノ北京政府ハ何等正式ニ之ヲ承認シ居ラス

(ハ) 張大元帥ノ政府ハ正式ニ之ヲ承認シ居ラス

(四) (問) 支那ノ不平等條約改訂、治外法權撤廢、租界回復、稅關回復等所謂國民的の要望ニ對スル政府ノ方針如何

(答) 政府ハ支那ノ穩健分子ノ自覺ニ基ク正當ナル國民的の要望ニ對シテハ滿腔ノ同情ヲ有シ其ノ合理的の漸進的の達成ニ協力スヘシ

(六) (問) 東方會議ハ如何ナル目的ヲ以テ開カレ如何ナル事項ヲ協議シ且如何ナル決定ヲ爲シタルモノナリヤ、殊ニ



(赤梓紙)

(イ) 滿蒙鐵道問題其ノ他滿蒙政策ニ關シ如何ナル決定ヲ爲シタル

ヤ

(ロ) 支那内亂ニ對スル態度ニ關シ如何ナル決定ヲ爲シタルヤ

(ハ) 其ノ他決定ヲ見タル具体的事項如何

(答) 東方會議ハ在支那文武官ノ主ナル者及關係官省ノ代表者ヲ集メ各員ヨリ親シク現地ニ於ケル情況及之ニ關スル意見ヲ聽取スルト共ニ各員ニ對シ政府ノ方針ヲ十分徹底セシムカ爲ニ開催シタルモノニシテ會議ニ於テハ政府ノ參考ニ資スル爲意見ノ交換ヲ爲シタルニ止マリ何等決定ヲ爲シタル次第ニアラス  
(イ) 會議ニ於テ何等決定シタル所ナシ然レトモ政府ノ滿蒙政策ハ同地方ノ治安維持セラレ之ヲシテ内外人安住ノ地タラシム

外務省

S 1.5.2.0 - 1

76

(赤梓紙)

コトヲ期シ門戶開放機會均等ノ主義ノ下ニ其ノ經濟的開發ヲ援助セムトスルニ在リ

(ロ) 會議ニ於テ何等決定シタルコトナシ尤政府ノ態度ハ前述ノ通りナリ

(ハ) 會議ニ於テ何等決定シタルコトナシ

外務省

S 1.5.2.0 - 1

77

秘

滿蒙問題

(一) (問) 政府ハ滿蒙ニ對シ積極政策ヲ建テラレタル趣ナルカ其ノ内容如何

(答) 滿蒙ヲシテ内外人安住ノ地タラシムトスル我理想ハ漸チ追ヒテ之カ實現ヲ期ス而シテ之カ内容ハ交渉中ノ問題ニ關スルヲ以テ言明スルヲ得ス

(二) (問) 政府ハ其ノ對滿蒙政策ヲ世間ニ明確ナラシメサル爲内外ニ對シ甚シキ誤解ヲ招キタルノ感アリ或ハ政府ハ大滿鐵主義ヲ建テ之ニ滿洲ニ於ケル各種ノ權力ヲ與ヘ恰モ往時ノ東印度會社ノ如キモノタラシメ之ニ依リテ滿洲ヲシテ事實上我國ノ植民地タラシムトスルモノナリトノ風評アリ右ハ果

(赤  
棒  
紙)

外  
務  
省

S 1.5.2.0 - 1

78

シテ事實ナリヤ

(答) 斯クノ如キ事實ナシ

(三) (問) 政府ハ滿蒙ノ治安維持セラレ此ノ地ヲシテ内外人安住發展ノ地タラシムコトヲ期セラルル趣ナルカ滿蒙治安維持ノ爲ニハ如何ナル措置ヲ執ラルル方針ナリヤ又之カ爲張作霖一派若クハ其ノ他ノ黨派ニ對シ支援ヲ與ヘラルル方針ナリヤ

(答) 各場合ノ事情ニ適應シタル方策ヲ講スルノ要アリ其ノ措置ハ場合ニ依リ相異ルヘキヲ以テ豫メ之ヲ決定シ置クヲ得ス

(四) (問) 滿蒙ニ於ケル資源開發經濟發展ノ爲既ニ如何ナル措置ヲ執

(赤  
棒  
紙)

外  
務  
省

S 1.5.2.0 - 1

79

(赤 梓 紙)

ラレタルヤ又將來ニ於テ之カ爲如何ナル措置ヲ執ラレムト  
スルヤ

(答) 夫々計畫シ居ル所アルモ右ハ漸チ進フテ實行スル意圖ナ  
リ

(問) 政府ハ滿蒙問題ニ關シ支那側ト交渉セラレツツアル趣ナル  
カ其ノ内容及經過如何

(答) 滿蒙ニ關シ支那側ト協議シツツアルハ事實ナルモ其ノ内  
容及經過ニ付テハ未タ之ヲ公表スルノ時期ニ達シ居ラス  
何レ近ク事實トナリテ現ハルルコトトナルヘシ

(問) 右滿蒙交渉ハ鐵道問題ヲ主タル交渉案件トナスモノノ如ク  
報道セラルル處鐵道問題ニ付テハ如何ナル交渉ヲ進メラレ

外 務 省

S 1.5.2.0 - 1

80

(赤 梓 紙)

ツツアリヤ

(答) 本件ニ付テモ未タ何等公表ノ時機ニ達シ居ラサルモ近ク  
事實トナリテ現ハルルコトト思考ス

(問) 右交渉ニ於テ最近迄政府カ支那側ニ對シ抗議シ来リタル打  
通線海吉線問題ハ如何ニ處理シタルヤ

(答) 方針ハ従前ト變ラサルモ何レ他ノ問題ト共ニ圓滿ナル解  
決ニ達スルモノト信ス

(問) 該交渉ハ商租權、内地雜居及治外法權撤廢ノ諸問題ヲ包含  
スルモノナリヤ若シ然ラストセハ商租權ノ如キ重大問題ヲ  
何故除外シタルヤ

(答) 此等ノ問題ニ付テモ相當考慮ヲ拂ヒツツアルコトヲ言明

外 務 省

S 1.5.2.0 - 1

81

スルヲ得

(問) 今次ノ滿蒙交渉ハ公使之ニ當ラスシテ滿鐵社長ト張作霖トノ間ニ行ハレタリトノ情報アリ政府ハ之ヲ確認スルヤ又滿鐵社長ハ右交渉ニ當リ鐵道問題ノミナラス商租問題、治外法權問題等ニモ交渉ヲ擴張シ大ナル讓歩ヲ爲シタルハ甚ダ不都合ナリ政府ハ之ヲ是認スルヤ

(答) 此等ノ情報ハ真相ヲ傳ヘタルモノニアラス支那側トノ交渉ハ常ニ在支公使之ニ當リツツアリ唯滿鐵社長新任挨拶ノ爲張作霖ヲ訪問シタル際其ノ談話中自然滿洲問題等ニ付話シタルコトアルモソハ大局上ノ意見ヲ非公式ニ交換シタルモノニシテ公使ノ交渉トハ關係ナシ

(赤梓紙)

外務省

S 1.5.2.0 - 1

82

(問) 支那ニ於ケル政權分立シ北京政府ノ地位確立セサル現状ニ

於テ北京政權ヲ相手トシテ此ノ種重大交渉ヲ行フハ一方ニ於テハ之ニ依リ張作霖ニ利益ヲ與ヘ惹イテ奉天軍援助ノ結果ヲ來ストノ非難アルヘク他方ニ於テハ斯クノ如キ不安定ナル政權ヲ相手トシテ爲シタル協定ハ他日政變ノ結果空文ニ歸スル虞アリ之ニ對スル政府ノ見解如何

(答) 政府トシテハ必要ニ應ジ支那各地ノ政權ト接觸シ問題ヲ解決スルノ方針ヲ持シ居リ從テ滿洲問題ニ付テモ此ノ意味ニ於テ北方ノ實權者タル張作霖ト交渉スル次第ナリ

(赤梓紙)

外務省

S 1.5.2.0 - 1

83

秘

一 對支武器禁輸協定ニ加入シ居ラサル獨逸ノ如キハ速リニ支那軍閥ニ對シ武器彈藥等ヲ供給シ本協定ノ目的ハ事實上没却セラレ屬ル實狀ニシテ協定加入國ノミ徒ニ協定ヲ金科玉條トシテ遵守スルモ益ナキ次第ナル處本協定ニ對スル現政府ノ方針如何

本協定ニ就テハ現政府モ協定ノ精神ヲ嚴守スル意圖ナリ

獨逸カ本協定ニ參加セサル爲不充分ナル點ハ之ヲ認ムルモ右ニ關シテハ適當ノ措置ヲ講スル所存ナリ

政府ハ大正八年ノ武器協定ヲ緩和シ支那ニ對シ武器輸入ヲ容易ナラシムル意思ナキヤ

政府ニ於テ斯ル意思ナシ

該武器協定成立後支那ハ勿論列國ノ狀勢大ニ變化シタル今日同協

(赤梓紙)

外務省

S. 1.5.2.0 - 1

84

定ニ對シ必要ノ改竊ヲ試ムル意思ナキヤ又之ヲ試ミタルコトアリ

現政府ニ於テハ此種改竊ヲ試ミタルコトナシ本件ハ目下考究中ナリ

山東軍押收 武器ノ結末如何

本件武器ハ目下日本官憲ノ確ナル保管ノ下ニ在リ尙本件武器ノ最後ノ始末ハ支那時局ノ推移ヲ見タル上決スル所存ナリ

滿鐵ノ膠濟鐵道ニ對スル車輛供給契約ノ內容如何

滿鐵ニ於テ本件契約ヲ締結セルコトナシ

山東及長江方面ニ對スル經濟的發展策ヲ説明セラレタレ政府ニ於テ右經濟的發展策ニ對スル案ヲ有スルコト勿論ナルモ現下支那政

(赤梓紙)

外務省

S. 1.5.2.0 - 1

85

(赤梓紙)

狀不安定ノ爲實行ヲ差控ヘ居ルモノアリ

右ニ對スル具體的ノ案ハ此際發表ノ時機ニ非スト思考ス

國武農場買収問題ノ經過如何

目下日支當局間ニ於テ交渉中ナルモ詳細ハ書面ヲ以テ回答スヘレ

山東ニ於ケル邦人農業ハ支那人ノ妨害ノ爲實行スル詭ハサル悲境

ニ在リ政府ハ果シテ如何ナル方策ヲ以テ之ニ對セムトスルヤ

支那人妨害ノ事實ハ一二聞ク所ナルモ其都度出先領事ニ於テ保護

手段ヲ講シツツアリ

政府ハ山東丸問題ニ對シ救済ノ意ナキヤ

本船ノ賣買其自体カ山東懸案細目協定會議ノ際ニ於ケル取極ニ反

スルノミナラス本件賣買交渉カ確ノ總領事館ノ瞭解ヲ得ス譯密裡

外務省

(赤梓紙)

ニ行ハレタルモノナルカ故ニ救済ノ要ヲ認メス

政府ハ日華協信公司ニ對シ救済ヲ計ラサルヤ

本件ニ就テハ公司側ヨリ從來同様ノ趣旨ヲ以テ再三ノ陳情アリタ

ルニ付目下當該係官ニ於テ研究中ナリ

政府ハ帝國鹽業會社ニ對スル鹽業補償金ノ増額ヲナスノ意ナキヤ

同會社ニ於テハ蠶ニ鹽業補償金額決定ノ際右ニ異議ナキ旨ヲ申立

テ居ル次第ナルヲ以テ今更増額ヲ證議スルノ余地ナキハ勿論政府

決定ノ補償額ハ公平ノ見地ヨリ査定シタルモノナルカ故ニ補償額

再審査ノ要ヲモ認メス

ガレン入國ノ際ニ於ケル本邦官憲ノ措置ヲ問フ

同人ノ希望ニ依リ本邦通過ノミヲ許セリ

外務省

秘

尙書時ノ狀況ニ依リ當該官憲ノ必要ト認ムル程度ノ取締ヲナセリ  
支那ノ東支鐵道強カ回收問題ノ真相如何  
本件ニ關シテハ書面ヲ以テ回答致スヘシ

(赤梓紙)

外務省

S 1.5.2.0 - 1 88

擬問擬答追加

(亞細亞局第一課關係)

一東三省排日

(一) (問) 滿蒙交渉開始セラルルヤ奉天其ノ他東三省ニ於テ排日運動勃發シタルカ其ノ原因、經過、影響及之ニ對シ政府ノ執リタル措置如何

(答) 書面ヲ以テ回答スヘシ

(二) (問) 滿洲ニ於テ排日運動ノ勃發シタルハ今回ヲ以テ嚆矢トス政府ノ滿蒙政策ニシテ公明正大ナルモノナルニ於テハ斯カル亂暴ナル排日運動ノ勃發スル答ナシ

(答) 滿洲排日運動ハ我公明ナル政策ニ對スル支那側ノ理解充分

(赤梓紙)

外務省

S 1.5.2.0 - 1 89

ナラサリシニ起因スルモノト認ムルトコロ我方ノ誠意ノ存スル所ヲ充分了解セシムル様努メタル結果排日運動モ終熄スルニ至リタリ

(三) (問) 政府カ内外人安住ノ地タラシメムト欲スル滿洲ニ斯卡ル排日風潮ノ植付ケラレタルハ將來ニ對シ永ク禍根ヲ殘スモノト云ハサルヘカラス政府ハ將來ニ向ツテ斯卡ル風潮根絶ノ爲如何ナル方法ヲ講セントスルヤ

(答) 排日風潮ハ一時的ノ現象ニシテ目下何等ノ憂フヘキ兆候ヲ認メス

ニ南京事件

(一) (問) 南京事件ニ付其ノ後如何ナル交渉ヲ行ハレタルヤ最近交渉

(赤梓紙)

外務省

S 1.5.2.0 - 1

90

停頓シテ進捗セサル様子ナルハ如何ナル理由ニ依ルヤ

(答) 南京政府ノ基礎モ不安定ナル爲本件交渉一時中絶シ居レリ

(二) (問) 本件交渉ニ關スル他國側トノ協調及之ニ關スル方針如何

(答) 各國相互間ニ充分ノ聯絡ヲ保チツツアリ

(三) (問) 蔣介石ハ南京事件ノ責任者ナルニ不拘其ノ來朝ニ當リ外務大臣、次官、軍部等ニ於テ之ヲ歡待シタルハ不謹慎ト認ム政府ノ見解如何

(答) 蔣介石ハ直接ノ責任者ニアラサルノミナラス既ニ下野シ私人ノ資格ヲ以テ來朝シタルモノナレハ一般支那要人ノ來朝シタル者ニ對スルト同様ノ接待ヲ爲シタルニ過キス

(赤梓紙)

外務省

S 1.5.2.0 - 1

91



秘

擬問擬答追加

(亞細亞局第一課關係)

洮南領事館開設問題

(問) 本年度豫算ニ經費ヲ計上シアル洮南領事館開設ハ未タ實行セ  
ラレサル處右ハ如何ナル事由ニ基クモノナリヤ

(答) 開設ノ時期ニツキ機微ノ干涉有リシ爲メ遺憾ナカラ今日迄實  
行ニ至ラス

(添  
梓  
紙)

外  
務  
省

S 1.5.2.0 - 1 92

秘

質疑應答案

三井無線問題ノ現状如何

(答) 三井無線問題ニ關シテハ關係各國間ノ意見一致セサル爲未タ解  
決ノ運ヒニ至ラサルモノナルカ政府ニ於テハ關係諸國トモ適宜  
接洽ノ上速ニ本件ヲ圓滿解決スル様鋭意努力中ナリ

支那鐵道問題中左ノ諸線ニ付説明ヲ求ム

(イ) 吉會鐵道 (答) 本鐵道ニ關シテハ大正七年吉會鐵道借款豫備契約

締結セラレタルモ未タ本契約ノ締結ヲ見ス尤モ本線中吉林敦化  
間ハ目下支那側ニ於テ滿鐵ノ工事費負ニヨリ建設中ナリ

(ロ) 長洮線 本線ハ大正七年日支間交換公文ニヨル我方留保線ノ一  
ナルモ未タ建設ノ運ヒニ至ラス

(添  
梓  
紙)

外  
務  
省

S 1.5.2.0 - 1 93

(赤  
梓  
紙)

(ハ)海吉線 本線ハ大正七年日支間交換公文ニヨリ我方留保線ノ一  
ナリ

(ニ)打通線 本線ハ客年末支那側ニ於テ建設工事ヲ完成シタル趣ナ  
リ

(ケ)海林延吉線 本線ニ付テハ政府ハ何等知ルトコロナシ

(ク)吉林五常線 同右

(コ)洮南索倫線 同右

(カ)白音太拉開魯線 同右

(キ)新邱炭坑線 同右

(ケ)南潯鐵道 本鐵道ハ支那中部地方ニ於ケル我方關係鐵道ナルカ  
最近同地方戰亂等ノ爲ニ涉々シキ收益ヲ擧ケ得ス政府ニ於テハ

外  
務  
省

(赤  
梓  
紙)

本鐵道ニ關スル日本側利益保全方ニ付目下措置ヲ講シツツアリ

外  
務  
省

秘

(赤) 梓 紙

一 (問) 支那各地官憲ハ軍費捻出ノ爲或ハ恣ニ不法課稅ヲ行ヒ或ハ鹽稅  
 收入ヲ抑留シ又公債ノ引受ヲ強制スル等外國側トノ條約又ハ契  
 約ノ規定ヲ全ク無視シテ顧ミス最近ニ至リ右ノ事態益々惡化セ  
 ムトスル傾向アル處帝國政府ハ我方ノ權利利益保護ノ爲右ニ對  
 シ何等有效適切ナル根本的對策ヲ講スル意アリヤ

(答) 帝國政府トシテハ支那側不法措置ニ對シ嚴重抗議シ萬一支那側  
 ニ於テ右抗議ニ拘ラス依然其態度ヲ改メサル場合ニハ各個ノ場  
 合ニ應シ更ニ峻嚴ナル措置ヲ執ルコトヲ怠ラス

ニ (問) 從來支那内争ノ外ニ超越シテ唯一ノ確實ナル財源ヲ形成シタル  
 海關ノ組織ハ最近支那ニ於ケル國權恢復ノ風潮並各地軍憲割據  
 ノ爲或ハ遠カラス之ヲ支那側ニ回收シ南北兩分惹テハ全ク同制

外 務 省

(赤) 梓 紙

度ノ崩壞ヲ見ムトスルノ虞ナキニ非スト認メラルル處我方ノ通  
 商保護及債權確保ノ見地ヨリ帝國政府ハ右ニ對シ早キニ臨ンテ  
 何等對策ヲ講スルノ意ナキヤ

(答) 帝國政府ハ各國ト共ニ非公式ニ南北兩政府ノ間ニ斡旋シテ圓滿  
 ナル妥協ヲ遂ケシメ海關組織ノ現状維持ニ努ムル方針ナリ

三 (問) 對支借款ハ元利ノ支拂徒ラニ延滞スルノミニテ支那ノ現状ニ於  
 テハ到底回收ノ見込ナキモノト認メラルル處帝國政府ハ何等カ  
 ノ方法ニ依リ對支債權者ヲ救済スルノ意アリヤ

(答) 帝國政府トシテハ目下何等考慮シ居ラス  
 四 (問) 漢洋公司ノ事業整理ノ爲國民政府ニ於テ之カ管理ヲ接收セムト  
 スル意向アルヤニ傳ヘラルル處右ニ對スル帝國政府ノ方針如何

外 務 省

(答) 本件根本的對策ニ付テハ目下關係省間ニ於テ慎重考究中ナルカ  
第一段ノ措置トシテハ關係官ヲ揚子江方面ニ派遣スルト共ニ關  
係領事ヲシテ支那側不法措置ニ對シ嚴重抗議セシムル筈ナリ

(赤  
梓  
紙)

外  
務  
省

S 1.5.2.0 - 1

98

亞一機密合第八八號

昭和三年二月一日

田中外務大臣

齊々哈爾、滿洲里、  
長春、牛莊、鐵嶺、各領事 宛  
鄭家屯、遼陽

調書送附ノ件

本件ニ關シテハ客月十日附亞一機密合第一四號在信ヲ以テ申進置タ  
ル處今般同調書第二卷及第三卷各一部計二冊天津ニ赴任ノ田代領事  
ニ奉天總領事館迄托送シ同館ヨリ幸便ヲ以テ送付方依頼シ置タルニ  
付右ニ御承知置相成度尙本調書ハ極祕事項ヲモ記載シアルニ付取扱

外  
務  
省

(赤  
梓  
紙)

不  
送  
紙

(赤梓紙)

方特ニ御注意相成度

2

外務省

(赤梓紙)

不登記

寫

亞一機密第四號

昭和三年二月一日

外務大臣男爵 田中 義一

在安東  
領事 岡田 兼一 殿

調書送付ノ件

本件ニ關シテハ客月十日附亞一機密合第一四號往信ヲ以テ申進置タル處今般同調書第二卷及第三卷各一部合計二冊天津ニ赴任ノ田代領事ニ托送致スニ付右同官ヨリ御查收相成度尙本調書ハ極祕事項ヲモ記載シアル次第ニ付取扱方特ニ御注意相成度シ  
尙田代領事貴地通過時刻ハ同官ヨリ直接電報ノ答

外務省

13115

(赤梓紙)

不送

亞一機密合第八七號

昭和三年二月一日

外務大臣男爵 田中 義一

ハ不哈尔家  
川根志林 各總領事宛

寫

調書送附ノ件

本件ニ關シテハ客月十日附亞一機密合第一一號往信ヲ以テ申進置タル處今般同調書第二卷、第三卷及第四卷ハレシニテ號各一部計三冊天津ニ赴任ノ田代領事ニ奉天總領事館迄托送シ同館ヨリ幸便ヲ以テ貴館ニ送付方依頼シタルニ付右ニ御承知置相成度尙本調書ハ極祕事項ヲモ記載シアル次第ニ付取扱方特ニ御注意相成度

外務省

(赤梓紙)

不送

寫

亞一機密第一三號

昭和三年二月一日

外務大臣男爵 田中 義一

在奉天  
總領事代理 蜂谷 輝雄 殿

調書送附ノ件

本件ニ關シテハ客月十日附亞一機密合第一一號往信ヲ以テ申進置タル處今般同調書第二卷、第三卷各拾部及第四卷三部(合計二十三冊)天津ニ赴任ノ田代領事ニ托送致スニ付右同官ヨリ御查收ノ上左記ノ通配布方御取計相成度尙本調書ハ極祕事項ヲモ記載シアル次第ニ付配布ニ當リテハ幸便ニ托スル等特ニ御注意相成度

外務省

(赤 梓 紙)

記

貴 館	第二卷、第三卷、第四卷 (第二十九號) 各一部 (三册)
吉林總領事館	第二卷、第三卷、第四卷 (第三十號) 各一部 (三册)
哈爾濱總領事館	第二卷、第三卷、第四卷 (第二十七號) 各一部 (三册)
齊々哈爾領事館	第二卷、第三卷各一部 (二册)
滿洲里領事館	同上
長春領事館	同上
鄭家屯領事館	同上
牛莊領事館	同上
鐵嶺領事館	同上
遼陽領事館	同上

外 務 省

電送第 750 號 12  
 3年2月4日 11時15分發

電信課長 野田

主 管 亞細亞局長 (印)

主 任 亞細亞局長 (印)

(起草昭和三年二月三日)

青 (原議用紙甲) 圖納

件 調書送付ノ件

名込綴

宛 在香港  
 村上總領事

發 田中外務大臣

●暗

第 四 號

重一機密合第一四號ニ関シ

全調書貴館宛並廣東宛ニ包七日神戸出帆エムエム

タルタギャン號ニテ土耳其ニ赴任ノ池野書記生ニ托送

セルニ付全官ヨリ御查收ノ上廣東ハハ更ニ幸便ヲ以テ

電信案

外務省

(原議用紙乙) 圖納

托送  
 アリタレ

電信案

外務省



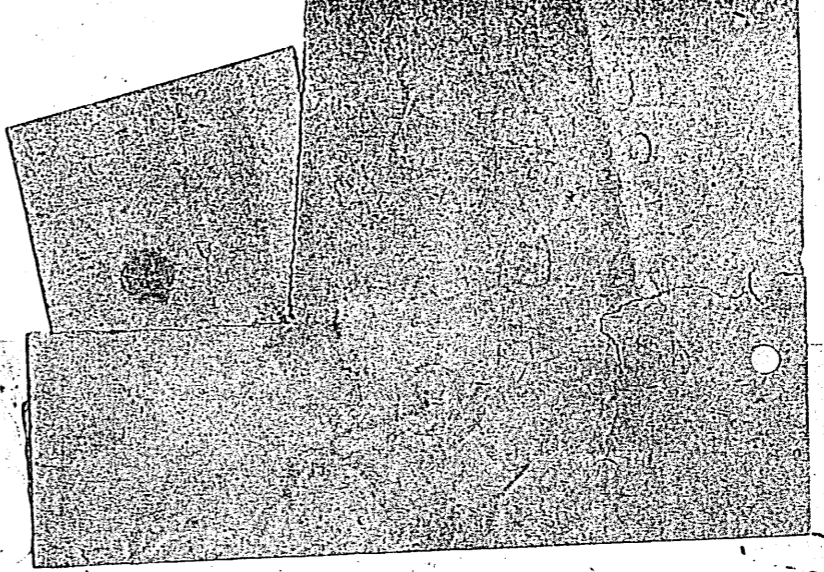
天津へ赴任ノ田代領事ヲ托送シ在奉天總領事館へ  
送付スルハ亞細亞局第一課議合調書用トシテ  
ラシク老個奉天總領事館へ保管轉換方御取  
計相成度

昭和三年一月廿日

亞細亞局第一課

會計  
御中

外務省



土耳其へ赴任ノ池野書記生ニ托送シ在土大使館へ送附スヘキ亞細亞  
局第一課議會調書容器トシテトランク壹個同大使館へ保管轉換方御  
取計相成度

昭和三年二月三日

亞細亞局第一課

會計課 御 中

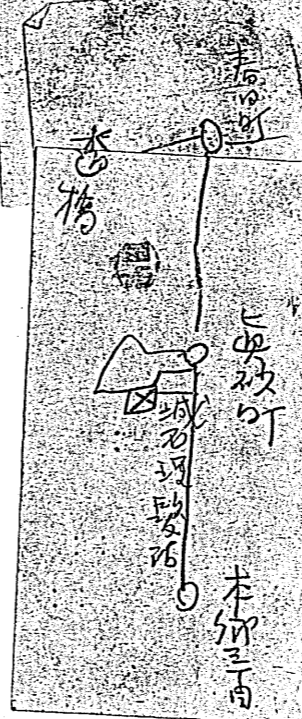
(赤 梓 紙)

不  
受  
記

外 務 省

船名 M.M.社 Dartagnan  
 神戸 七日 夕七時

本郷区 百町一十五  
 宇田 稔 雄 才  
 地 郵 政 治 郎



亞細亞局第一課

送附スヘキ亞細亞  
 館へ保管轉換方御

(赤 梓 紙)

不詳記

外 務 省





和三年二月三日

課 御 中

本郷区尾町一十二

宇田 稔 雄 才

地 野 政 治 郎

送附スヘキ亞細亞館へ保管轉換方御

亞細亞局第一課

外務省

(赤 梓 紙)

不 受 取

北 Dartagnan  
七日 7/14-18





在 香 港 日 本 總 領 事 館

025

機密公第三九號

昭和三年二月十五日

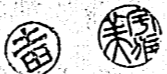
在香港

總領事 村上 義

外務大臣男爵 田中義一殿

調書受領ノ件

本年一月十日附亞一機密合第一四號貴信御來示ノ調書「最近支那關係諸  
問題摘要」第二、三兩卷ハ貴電第一四號ノ通昨十四日池野書記生ヨリ受  
領セルニ付御了知相成度シ  
追テ廣東宛調書包ハ近ク幸便ヲ以テ托送ノ筈



昭和三年貳月廿九日接受

記

拜啓陳者過日當課議會調書上海宛御届方御依頼ニ及置候處木箱作  
製等少々間ニ合ヒ兼ネ候ニ付何レ近々幸便ニ依リ御送付申上ヘク  
右御承知相煩度此段申進候 敬具

二月七日

土田事務官

岡本領事殿

外務省

赤印紙

不奉記

電送第 957 號

昭和三年二月十六日

電信課 長

電信案

主 任 亞細亞

主 任 亞細亞

(起草昭和三年二月十六日)

(印)

(原議用紙中) 圓納

件 調書送付ノ件  
宛 長崎白本郵船汽付上海丸船客  
岡本一策

名込綴 議令同係  
發 中山課長

平 第 / 號

上海宛木箱ハ後便ニ託スコトトセリ

電信案

外務省

電信寫



昭和3、一六三三

暗

京城 本省

二月十八日後着

亞、歐

有田亞細亞局長

朝鮮總督府警務局長

本府哈爾濱派遺員ヨリ左ノ電アリ

勞農黨ニ對スル選舉援助費ハ「ハバロフスク」ノ分未着ノ爲哈爾

濱ニ於テ其額立替十三日東京「ソツヴェイト」大使館經由發送シタ

ルモノノ如シ

議會關係





亞細亞局

第一課

昭和三年貳月廿九日接受

機密第三三號

昭和三年二月二十一日

在 遼 陽

領事館事務代理 吉井 秀



外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

調書接到ノ件

本月一日附亞一機密合第八八號貴信御申越ニ係ル調書第二卷及第三卷各一部計二册今般奉天總領事館ヨリ託送致越タルニ付此段通報申進ス

在遼陽日本領事館

025

亞細亞局

昭和三年貳月廿七日接受

機密第四九號

昭和三年二月二十二日

在 鐵 嶺

領事 田 中 莊 太



外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

最近支那關係諸問題調書領收ノ件

本年一月十日附亞一機密合第一四號並本月一日附亞一機密合第八八號御來示ノ本調書第二卷及第三卷各一部計二册本月二十一日奉天總領事館ヨリ領收済ニ付爲念申進ス

寫送付先 奉天總領事代理

025

亞細亞局

機密 公第五七號

第一課

昭和參年貳月廿九日 機受

別紙添付

昭和三年二月二十一日

在鄭家屯

領事代理 中野高



外務大臣男爵田中義一殿

極秘調書之類スル件

本件ニ関シ一月十日附函一紙各合第一四號  
責信ヲ以テ御朱訓ノ次第有之右調書ハ  
在奉天總領事館ハケ代領事ヨリ本日止  
ニ受領シタルヲ以テ別紙ノ通り領收証一通提  
出セルニ付可然御取計相成度ニ

在鄭家屯日本領事館

受領証

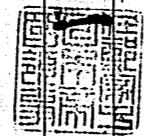
一最近支那關係諸問題摘要  
第一卷及第二卷 各一部

右正領收候也

昭和三年二月二十一日

在鄭家屯

領事代理 中野高



外務大臣男爵田中義一殿

在鄭家屯日本領事館

亞細亞局

機密公第一三一號

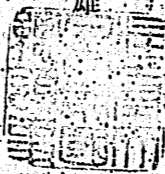
昭和三年二月二十三日

第一課

昭和三年貳月廿九日

在奉天

總領事代理 蜂谷 輝雄



外務大臣男爵 田中義一殿

極秘調書受領ノ件

本件ニ關シ本月一日附亞一機密第一三號貴信ヲ以テ御申越ノ趣敬承  
本月二十日該調書田代領事ヨリ受領ノ上左記ノ逆配布方取計致置タ  
ルニ付右様御了知相成度此段申進ス

在奉天日本總領事館

記

吉林總領事館	長春迄田代領事ニ托送
哈爾濱總領事館	田代領事ニ托送
齊々哈爾濱領事館	哈爾濱迄田代領事ニ托送
滿洲里領事館	同上
長春領事館	田代領事ニ托送
鄭家屯領事館	當館八ヶ代副領事ニ托送
牛莊領事館	同館卜ノ辛便照會中
鐵嶺領事館	同館々員派遣ヲ求メ交付
遼陽領事館	當館八ヶ代副領事ニ托送

在奉天日本總領事館

亞細亞局

公第四五號

昭和三年二月二十三日

在長春

日本領事館



昭和三年三月五日 接

外務大臣官房

文書課長殿

極秘調書受領ノ件

第五、四議會用最近支那關係諸問題摘要第二卷及第三卷各一部本月二十日田代領事ヨリ受領シタリ  
右爲念報告ス

在長春日本帝國領事館

亞細亞局

機密公字一〇一號

昭和三年二月二十三日

在吉林

川越 茂



昭和三年三月六日 接

外務大臣男爵 田中義一殿

調書受領ノ件

本年一月十日附亞一機密合第一一號並二月一日附亞一機密合第八七號貴信ニ關シ同調書第一卷第二卷第三卷及第四卷第三十號號各一部計四册受領セリ  
本信寫送附先 奉天總領事

在吉林日本帝國總領事館

課内  
回覧

秘

議會關係

(乙) 號用紙 (圓納)

第五十五議會：討議 擬向擬答作成一件

(昭和三年三月八日)

要領車馬第十課

本件擬向擬答、来ル四月五日迄：内閣書記官長

一提出スルヲ要スル趣ナルニ付、尙得、關係ノ分左ノ方

針ヲ以テ右期日ニ同ニ合フ様、各自分擔事項ニ付

擬向擬答案ヲ作成スルヲ

一 擬向擬答、前同、擬向擬答以後ノ事實

外務省

(乙) 號用紙 (圓納)

ニ付作成スルヲ 前同擬向擬答中、其ノ後ノ

事件ノ進展ニ依リ訂正ヲ要スルモノハ訂正

シタル擬向擬答ヲ作成スルヲ

一 今更格別議會調査ヲ作成スルニ必要ナル

一 中趣ナルニ付擬答ニ幾分詳細ナラシムルヲ

一 起草ノ順序ハ先ツ擬向ヲ作成シ次ニ擬答

ヲ作成スルヲ

外務省

高

亞一機密第六四號

昭和三年三月十二日

外務大臣男爵 田中 義一

在青島  
總領事 藤田 榮介 殿

調書送付ノ件

本件ニ關シテハ一月十日附亞一機密台第一四號往信ヲ以テ申進置タル處今般同調書第二卷及第三卷各三部及芝罘宛大正十五年度分調書第二卷及第三卷各一部合計八冊貴館ニ赴任ノ望月副領事ニ托送致スニ付右御查收ノ上ハ左記ノ通配布方御取計相成度尙本調書ハ極祕事項ヲモ記載シアルニ付取扱方特ニ御注意相成度

三ノ

海太  
(赤梓紙)

不送

外務省

(赤梓紙)

記

貴館 第二卷及第三卷各一部 (二冊)

濟南總領事館 同 上

芝罘領事館 同 上 (外ニ大正十五年度分同二冊)

2

外務省

寫

亞一機密第三二號

昭和三年三月十二日

外務大臣男爵 田中義一

在濟南

總領事代理 西田 畊一 殿

調書送附ノ件

本件ニ關シテハ一月十日附亞一機密合第一四號往信ヲ以テ申進置タル處今般同調書第二卷及第三卷各一部合計二冊青島ニ赴任ノ望月副領事ニ青島總領事館迄托送シ同館ヨリ幸便ヲ以テ貴館ニ送附方依頼シ置タルニ付右ニ御承知置相成度尙本調書ハ極祕事項ヲモ記載シアルニ付取扱方特ニ御注意相成度

外務省

(赤梓紙)

寫

亞一機密第一二號

昭和三年三月十二日

外務大臣男爵 田中義一

在芝罘

領事 森岡正平 殿

調書送附ノ件

本件ニ關シテハ一月十日附亞一機密合第一四號往信ヲ以テ申進置タル處今般同調書第二卷及第三卷各一部並ニ大正十五年度分同第二卷及第三卷各一部合計四冊青島ニ赴任ノ望月副領事ニ青島總領事館迄托送シ同館ヨリ幸便ヲ以テ貴館ニ送附方依頼シ置タルニ付右ニ御承知置相成度尙本調書ハ極祕事項ヲモ記載シアルニ付取扱方特ニ御注

外務省

(赤梓紙)

2

意相成度

外務省

(赤梓紙)

REEL No. A-0531

アジア歴史資料センター



AMBASSADE DU JAPON  
TURQUIE.

昭和三年三月二十四日

機密公才七〇號

第一課電

了

昭和三年四月廿三日授受

左土

特命全權大使

外務大臣野村吉三

調書領收ノ件

二月六日付並一機密公才九號ソ以テ御末示相成リタル最新  
支那國條諸問題摘要公才二卷及公才三卷ノ一部ハ本日  
着任ノ池野書記生持去リ 当館ニ於テ正ニ受領シタルニ  
付此後右申進ス

(終)